

## 2026年度

東京藝術大学音楽学部・別科入学者選抜試験  
試験内容及び課題曲

(この冊子は表紙を含め全56ページ)

※発表した課題曲の内容等についての電話等による問い合わせには応じない。  
 ※本冊子記載事項に訂正があった場合は、その都度本学ホームページで発表する。

## 声種・楽器等の略記について

本学では、下記のとおり声種・楽器名を略記することがあるので、参考までに記載する。

## 【 略 記 一 覧 】

専攻・声種・楽器名		略記	専攻・声種・楽器名		略記		
作	曲	/					
声 楽	ソプラノ	S	金 管 器	ホルン	Hr		
	アルト	A		トランペット	Tp		
	テノール	T		テナー・トロンボーン	TTb		
	バス	B		バス・トロンボーン	BTb		
				ユーフォニアム	Euph		
		チューバ		Tu			
器 楽	ピアノ	Pf	打 楽 器		Pc		
	オルガン	Org					
	弦 楽	ヴァイオリン		Vn	古 楽	バロック声楽	BVo
		ヴァイオラ		Va		バロックヴァイオリン	BVn
		チェロ		Vc		バロックチェロ	BVc
		コントラバス		Cb		リコーダー	Rec
		ハープ		Hp		チェンバロ	Cemb
	木 管	フルート		Fl		バロックオルガン	BOrg
		オーボエ		Ob		フォルテピアノ	FP
		クラリネット		Cl		指揮	/
ファゴット		Fg	邦楽	/			
サクソフォーン		Sx	楽理	/			
			音楽環境創造	/			
<p>○略記の表現について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原則として、2字以内にまとめた。</li> <li>2. 科目名等は、日本語のままとし、声種・楽器名を略記の対象とした。</li> </ol>							

## 「2026年度学部・別科 学生募集要項」の公表について

1. **公表時期** 2025年12月上旬
2. **公表方法** 本学入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/>) 上で公表する。

## 音楽学部

### 試験内容及び試験曲

#### ア. 専攻実技等

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
作曲	作曲 エクリチュール	<p>◎作曲科共通注意事項</p> <p>第1回、第2回試験は共通試験となるが、第3回試験は専攻によって（作曲専攻、エクリチュール専攻）試験内容が異なるので注意すること。</p>	
		第一回	<p>和声：与えられたバス及びソプラノの声部により、それぞれ4声体の和声を作成する。（各3時間）</p>
		第二回	<p>(1) 厳格対位法： 与えられた定旋律による3声華麗対位法と混合類を各1題作成する。（3時間）</p> <p>(2) バッハ様式によるコラール： 与えられたコラール旋律により、バッハ様式で4声コラールを1題作成する。（2時間）</p> <p>計5時間</p>
第三回	<p>&lt;作曲専攻&gt;</p> <p>自由作曲：与えられた主題及び指定された形式・楽器編成（※）に基づいて楽曲を完成させる。 なお、楽器編成は下記の中から指定する。 （8時間。ただし、途中で1時間の昼食休憩を別途設ける）</p> <p>フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノ</p> <p>※ 変奏曲、ロンド、ソナタなどの形式 ※ 形式及び楽器編成については当日に指定する。</p> <p>&lt;エクリチュール専攻&gt;</p> <p>(1) 総譜初見視奏と移調奏 (2) ピアノによる数字付き低音の和声付け (3) 楽器奏者の演奏する旋律課題のピアノ伴奏付け</p> <p style="text-align: right;">（次ページに続く）</p>		

【例題】

(1) 厳格対位法

1. 次の定旋律（バス譜表）上に、テノール、アルト、ソプラノいずれかの音部記号を用いて移勢と4分音符による3声の混合類を作成せよ。それぞれの対旋律をどの声部に置くかは自由。なお、定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋は行わないものとする。



2. 次の定旋律（ソプラノ譜表）を高声部として、3声の華麗対位法を作成せよ。なお、対旋律は、バス、テノール、アルトのいずれかの音部記号を用いること。定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋は行わないものとする。



(2) コラール

次のコラール旋律をバス、テノール、アルト記号を用いて、四声体で作成せよ。

Choral







科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
声		<p><b>B. 外国曲・ドイツ</b></p> <p>16. Beethoven, L.v Ich liebe dich so wie du mich WoO 123</p> <p>17. Brahms, J. Dein blaues Auge Op. 59-8</p> <p>18. Mendelssohn, F. B. Auf Flügeln des Gesanges Op. 34-2</p> <p>19. Mozart, W. A. An Chloe KV 524</p> <p>20. Mozart, W. A. Das Veilchen KV 476</p> <p>21. Schubert, F. An die Musik Op. 88-4</p> <p>22. Schubert, F. Frühlingsglaube Op. 20-2</p> <p>23. Schumann, R. Die Lotosblume Op. 25-7</p> <p>24. Schumann, R. Du bist wie eine Blume Op. 25-24</p> <p>25. Wolf, H. Verborgtheit Mörrike-Lieder 12.</p>
	<p>ソプラノ (S)</p> <p>アルト (メゾソプラノを含む) (A)</p> <p>テノール (T)</p> <p>バス (バリトンを含む) (B)</p>	<p><b>B. 外国曲・フランス</b></p> <p>26. Berlioz, H Villanelle</p> <p>27. Debussy, C. Beau soir</p> <p>28. Debussy, C. Nuit d'étoiles</p> <p>29. Fauré, G. Clair de lune</p> <p>30. Fauré, G. Ici-bas !</p> <p>31. Fauré, G. Lydia</p> <p>32. Fauré, G. Mai</p> <p>33. Fauré, G. Notre amour</p> <p>34. Gounod, Ch. Chanson de printemps (第1節, 第3節のみ)</p> <p>35. Hahn, R. Si mes vers avaient des ailes</p>
楽		<div style="border: 1px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p><u>日程揭示に関する注意事項</u></p> <p>2026年2月13日(金) 14:00以降に第1回試験の日程(各声種・受験番号の試験日付のみ)を本学入試情報サイトで発表する。集合時刻と試験時刻は2月24日(火)に発表する。</p> </div> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
声		<p><b>声楽科志願者に対する注意事項</b></p> <p><b>1. 試験内容及び試験曲について</b></p> <p>(1) 第1回A. およびB. の課題選択曲ともいずれの調で演奏しても良い。B. 外国曲の課題選択曲は原語歌詞により演奏すること。 第2回自由曲は、歌曲（および一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む）の場合、いずれの調で演奏しても良いが、オペラおよびオラトリオ等のアリアは原調で演奏すること（ただし、オペラのアリアで慣習的に移調が認められている場合を除く）。</p> <p>(2) 志願者の演奏に与えられる時間は、次のとおりである。 第1回試験 2曲合わせて4分以内 第2回試験 4分以内</p> <p>試験官の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。</p> <p>(3) 伴奏楽器はピアノとし、楽器および伴奏者は本学で用意する。志願者が試験時に伴奏者を同伴することは認めない。</p> <p>(4) 志願者は、出願時に提出する「<u>受験曲目提出用紙</u>」の写し（コピー）を、<u>試験当日持参すること</u>。</p> <p>(5) 男性で、ソプラノまたはアルトの音域を演奏する志願者は、それぞれ該当する専攻（声種）に出願すること。</p> <p><b>2. 伴奏楽譜について</b></p> <p>(1) 志願者は、選択した第1回課題選択曲および第2回自由曲のピアノ伴奏用の楽譜を、出願時に提出すること。伴奏者は提出された楽譜を使用するので、調性等に誤りがないか確認し、(2)によく留意して体裁を整えること。楽譜提出後の曲目、調性等の変更は一切認めない。</p> <p>(2) 提出する楽譜は、次の要領により整えること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽譜の大きさは、1ページA4縦とする。</li> <li>・ 楽譜には声部に加え、ピアノ伴奏部と歌詞が記載されていること。手書きの場合には、黒のペンまたはボールペンで清書すること。</li> <li>・ 楽譜は1冊に合本せず1曲ごとに製本し、1頁目のウラにA4サイズの画用紙程度の厚さの表紙をつけ、必要事項を記入した「提出楽譜表紙貼付票（入試情報サイトからダウンロード）」を表紙の上端に貼付すること。</li> <li>・ 楽譜は伴奏者が見やすく、めくりやすくするために折本仕立て（下図参照）にして、各頁を全開できるように製本すること。</li> </ul> <p style="text-align: center;">(4頁の楽譜の場合)</p> <div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">↑ 楽譜のつなぎ目をテープ等で貼る ----- 1頁目ウラに表紙をつける</p> </div> <p>(3) 楽譜の提出に当たっては、当該楽譜のみ「音楽学部声楽科伴奏楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に「書留速達郵便」により郵送すること。封筒裏面に志願者の氏名、声種および5桁の整理番号（登録情報確認書の右下に記載されている番号）を必ず記入すること。この封筒内に、伴奏楽譜以外の必要書類を絶対に同封しないこと。同封した場合には、受験できないことがある。</p>
楽		



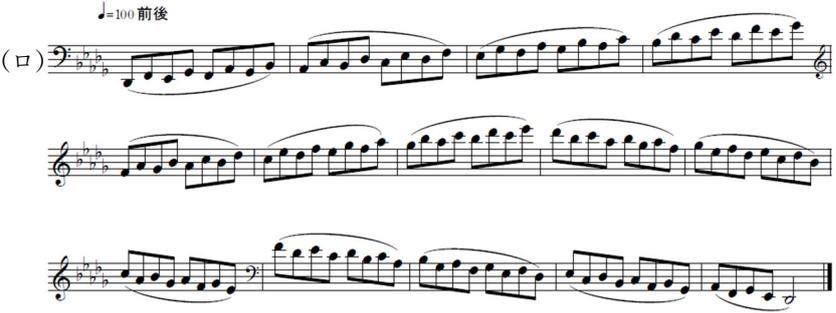
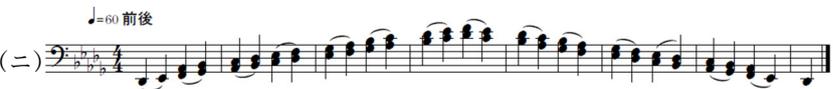


科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	弦	<p>(A) 音階</p> <p>カール・フレッシュ:スケール・システム(Carl Flesch: Scale System)よりハ長調(C-dur)で、次のイ、ロ、ハ、ニ、ホ、ヘの各種を下記に参照し、譜例の通り演奏すること。</p> <p>(イ)音階, 分散和音, 分散 3 度, 半音階 (ロ)3 度の重音 (ハ)6 度の重音 (ニ)8 度の重音 (ホ)フィンガード・オクターヴ (ヘ)10 度の重音</p> <p>※すべてレガートとし、スラーは譜例に従うこと。</p> <p>フィンガリングは自由とする。</p> <p>♩ = 108 以下</p> <p>(イ) </p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>(stacc) </p> <p></p> <p></p> <p>♩ = 50 以下</p> <p>(ロ) </p> <p>♩ = 50 以下</p> <p>(ハ) </p> <p>♩ = 50 以下</p> <p>(ニ) </p> <p>♩ = 50 以下</p> <p>(ホ) </p> <p>♩ = 50 以下</p> <p>(ヘ) </p> <p>(次ページに続く)</p>
	ヴァイオリン (Vn)	<p>第一回</p>

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲	
器	弦	ヴァイオリン (Vn)	第 一 回	<p>(B) N.Paganini : 24 のカプリース Op.1 から 第 2 番 ロ短調 第 4 番 ハ短調</p> <p>上記の 2 曲から任意の 1 曲を選択すること ※繰り返しはなし。</p> <p>(注)演奏は(A)(B)の順とする。 すべて暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。 時間の都合により一部を省略させることがある。</p>
	楽			第 二 回

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	弦	<p>(A) 音階</p> <p>Carl Flesch : Scale System(ヴァイオラ用に編曲された版) より ニ長調 (D-dur) で、次のイ、ロ、ハ、ニの各種を下記を参照し、 譜例の通り演奏すること。</p> <p>(イ) 音階、分散和音、分散3度、半音階 (ロ) 3度の重音 (ハ) 6度の重音 (ニ) 8度の重音</p> <p>※すべてレガートとし、スラーは譜例に従うこと。フィンガリングは自由とする。</p> <p>♩=108以下</p> <p>(イ) </p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>♩=40以下</p> <p>(ロ) </p> <p>♩=40以下</p> <p>(ハ) </p> <p>♩=40以下</p> <p>(ニ) </p> <p>(次ページに続く)</p>
	ヴァイオラ (V a)	<p>第一回</p>
楽	楽	

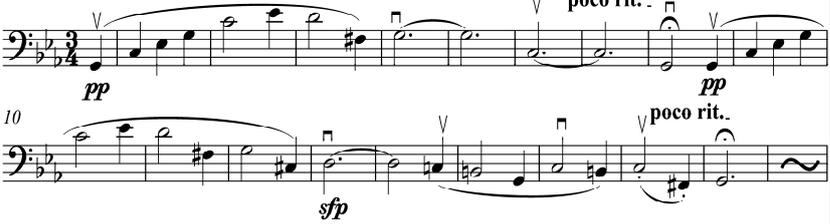
科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲	
器	弦		第一回	<p>(B) Campagnoli : 41Caprices Op.22 より No.24 (B-dur)            ※使用する楽譜の版は特に指定しない。</p> <p>(注) 演奏は (A) (B) の順とする。            すべて暗譜とする。            時間の都合により一部を省略させることがある。</p>
楽	楽	ヴィオラ (Va)	第二回	<p>(A) J.S.Bach : 無伴奏チェロ組曲第4番変ホ長調 (Es-dur)            BWV1010 (ヴィオラ用に編曲された版) より Allemande            ※繰り返しは無しとする。            使用する楽譜の版は特に指定しない。</p> <p>(B) F.A.Hoffmeister : Viola Concerto ニ長調 (D-dur) より            第1楽章 Allegro (カデンツァ付き)            ※Henle 版を使用し、カデンツァは CadenzaA を演奏すること。</p> <p>(注) 演奏は (A) (B) の順とする。            すべて暗譜とし、(B) はピアノ伴奏付きで演奏する            (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない)。            時間の都合により一部を省略させることがある。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器 弦	チエロ (Vc)	<p>(A) 音階：チェロのためのスケールとアルペッジョ 変二長調(Des-dur) 譜例参照のこと</p> <p>Des-Dur ♩=100 前後</p> <p>(イ) </p> <p>(ロ) </p> <p>(注)テンポは自由</p> <p>(ハ) </p> <p>(ニ) </p> <p>(ホ) </p> <p>(ヘ) </p> <p>(B) Duport: 21 の練習曲より任意の 1 曲 ※ただし, no.3 (C major), no.5(c minor), no.7(g minor), no.19(B major)を除く ※使用する楽譜の版は特に指定しない</p> <p>(注) すべて暗譜とし, 繰り返しはなしとする。 時間の都合により一部省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>
		楽 楽

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器          楽          楽	弦	チェロ (Vc)	<p style="text-align: center;">第二回</p> <p>(A)J.S.Bach：無伴奏チェロ第4番変ホ長調(Es-dur) BWV1010より Courante ※繰り返しはなしとする。使用する楽譜の版は特に指定しない。</p> <p>(B) 以下の2曲より任意の1曲。 ・J.Haydn：チェロ協奏曲 第1番ハ長調 Hob. VIIb:1 より 第2楽章 Adagio (任意のカデンツァを含む) 第3楽章 Allegro Molto</p> <p>・J.Haydn：チェロ協奏曲 第2番ニ長調 Hob. VIIb:2 より 第2楽章 Adagio (任意のカデンツァを含む) 第3楽章 Allegro</p> <p>※使用する楽譜は Henle 版に準ずる</p> <p>(注) すべて暗譜とし、繰り返しはなしとする。 (B)はピアノ伴奏つきで演奏する (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない) 時間の都合により一部省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする</p>



科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	弦	<p>(C) 譜例①～⑤のオーケストラ・スタディを順番通りに演奏する。</p> <p>① Mozart Eine kleine Nachtmusik K.525 から第一章抜粋</p> <p><i>Allegro</i></p>  <p>6 <i>f</i></p> <p>10 <i>p</i></p> <p>17 <i>sf p sf p cresc.</i></p> <p>21 <i>f</i></p> <p>25</p> <p>第一回</p>
楽	コントラバス (C b)	<p>② Mozart Symphony No,40 K.550 から第一楽章抜粋</p>  <p>114 <i>f</i></p> <p>119 <i>f</i></p> <p>123</p> <p>128</p> <p>132 C</p> <p>135</p> <p>(次ページに続く)</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	弦	<p>③ Beethoven Symphony No.5 第3楽章から抜粋</p> <p>Allegro ♩ = 96</p>  <p>10</p> <p>④</p>  <p>54</p> <p>61</p>  <p>68</p> <p>⑤</p>  <p>147</p> <p>155</p>
楽	コントラバス (Cb)	<p>第一回</p> <p>(注) オーケストラ・チューニング (オーケストラ弦) で演奏すること。  (A)(B)(C) の順で、全て暗譜で演奏すること。  楽器の貸与はしない。  時間の都合により一部を省略することがある。</p> <p>(次ページに続く)</p>

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
器	弦	コントラバス (Cb)	第二回	(A) G.P. Telemann : Sonata in A minor for String Bass and Piano より第1楽章と第2楽章 (International版, Stuart Sankey編) (注) 繰り返しなし。
	楽			(B) Jean Françaix : Concerto pour Contrebasse et Orchestre より第1楽章と第2楽章  (注) (A)(B)ともにオーケストラ・チューニングでピアノ伴奏付きで 演奏すること。 (A)(B)の順番で、全て暗譜で演奏する。 伴奏者は本学で用意する。 伴奏合わせは、試験直前に行う。 楽器の貸与はしない。 時間の都合により一部を省略させることがある。

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲	
器    楽	弦	ハ ー プ (H p)	第 二 回	<p>(A) ニコラ・シャルル・ボクサ： 「ハープのための50の練習曲 作品34」より、第1番、第39番 (Nicholas Charles Bochsa: Etude No. 1 and No. 39, from “Célèbre Études pour la Harpe, Cinquante Études, Op. 34”)</p> <p>(B) デイヴィッド・ワトキンスによる 「Anthology of English Music for the Harp, Volume 4」より、 E. パリッシュ＝アルヴァーズ：ロマンス 変イ長調 (Elias Parish-Alvars: Romance in A flat, from “Anthology of English Music for the Harp, Volume 4” by David Watkins)</p> <p>(注意) ・上記の課題 (A), (B)を(A)→(B)の順で演奏すること。 ・(A), (B)すべて暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。 ・繰り返しは無しとする。 ・時間の都合により一部を省略させることがある。</p>
				第 二 回

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器	管	木	<p>◎フルート注意事項</p> <p>※出版社の指定のないものは、何版にても可。</p> <p>※暗譜の指定がないものは、楽譜を使用してもよい。</p> <p>※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p>
			<p>第一回</p> <p>(1) 音階 下記の例を参考にして、当日指定によりスラーまたはスタッカートで演奏すること。演奏する調は当日指定する。短調では旋律短音階を演奏する。暗譜で演奏すること。</p> <p>(例)</p>  <p>(2) A.B.Fürstenu : 24 Etüden für Flöte より No.20, 21 より当日指定する。</p> <p>(3) J.S.Bach : BWV 1013 より Sarabande</p> <p>繰り返しなし。任意の強弱。スラーを付けてもよい。 trill 以外の装飾音をつけてはならない。 (2)(3)は楽譜を使用してもよい。</p>
楽	楽	管	<p>フルート (F I)</p> <p>第二回</p> <p>(1) M.A.Reichert : Fantaisie Mélancolique 13 小節目アウフタクトから始め、95 小節目まで演奏し、間奏をカットして Largo から 144 小節目まで演奏、その後の間奏をカットして Var.2 から演奏する。 ※息継ぎ等を書き込んだ伴奏譜を持参すること。(伴奏譜は返却する) (注)全て暗譜とする。課題曲には、ピアノ伴奏をつける。 ピアノ伴奏者は本学において用意する。</p> <p>(2) 次の a) ~ g) の中より任意の 1 曲を演奏すること。 楽譜を使用してもよい。</p> <p>a) L. Berio : Sequenza I b) E. Bozza : Image c) C. Halffter : Debra (6 分以内にカットすること) d) P. Hindemith : 8 Stücke より 1, 2, 3, 5, 6, 8 e) 一柳慧 : 忘れえぬ記憶の中に f) S. Karg-Elert : Sonata "Appassionata" g) I. Yun : Etüden für Flöte(n) solo より Nr. 5</p>



科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器	管	木	<p>◎クラリネット注意事項</p> <p>※出版社の指定のないものは、何版にても可。</p> <p>※暗譜の指定のないものは、楽譜を使用してもよい。</p> <p>※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>※反復記号、D. S., D. C.などによるリピートは省略すること。</p> <p>※すべての課題をB♭管のソプラノクラリネットで演奏すること。</p>
			打
	楽	管	<p>第二回</p> <p>(1) C. M. v. Weber : Concertino Op. 26 (カデンツァを含めない) 暗譜で演奏すること。試験ではピアノ伴奏をつける。 ピアノ伴奏者は本学において用意する。 ピアノ伴奏は7小節目から演奏を始め、112~124小節の間奏部分はカットする。出版社の指定はないが、演奏する小節数はBreitkopf版に準ずるものとする。</p> <p>(2) a) F. Héau : 30 études d'après J.-S. Bach volume 1 (Gérard Billaudot 版) より No. 3. Sarabande</p> <p>b) C. Rose : 40 Etudes (全音楽譜出版)より No.38</p> <p>c) B.Kovács : Hommage à R.Strauss (Edition Darok 版)</p> <p>上記 a), b), c) からひとつを選んで演奏すること。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器	管	木	<p>◎ファゴット注意事項</p> <p>※暗譜の指定のないものは、楽譜を使用してもよい。</p> <p>※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p>
	打	ファゴット (F g)	<p>第一回</p> <p>(1) 音階 下記の例を参考にして、当日指定によりスラーまたはスタッカートで演奏すること。演奏する調は当日指定する。短調では旋律短音階を演奏する。暗譜で演奏すること。 (例) </p> <p>(2) J.Weissenborn : Studies for Bassoon Op. 8 Vol. II (何版にても可) No.1~No.21の中から当日指定する。 繰り返しなしで演奏すること。</p>
楽	楽	管	<p>第二回</p> <p>(1) K. Stamitz : Konzert F-dur für Fagott und Orchester 第1楽章 (Sikorski 版) カデンツァあり 暗譜で演奏すること。試験ではピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は本学において用意する。</p> <p>(2) J. Weissenborn : Studies for Bassoon Op. 8 Vol. II (何版にても可) No.22~No.43より任意の1曲を演奏すること。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
器	管	木	<p>◎サクソフォーン注意事項</p> <p>※暗譜の指定がないものは、楽譜を使用してもよい。</p> <p>※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p>
			打
楽	楽	管	

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器	管	金	<p>◎ホルン注意事項 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。 ※暗譜の指定がないものは、楽譜を使用してもよい。</p> <p>(1) 音階 全ての調（長調・スラー有または無）の中から当日指定する。但し、下記のリズムパターンで演奏すること。楽譜は使用して良い。 (例)</p>  <p>音階の音域は次の範囲内とする。</p>  <p>第一回</p> <p>(2) Kopprasch : Sixty Selected Studies for French Horn, book 1, 2 (Carl Fischer 版に限る) より A) 6, 8, 15 演奏箇所は当日指定する (暗譜で演奏すること)。 B) 9, 16, 21, 25, 28, 37 (楽譜は使用してよい。) 注) 全て in F で演奏。リピートなし。演奏箇所は当日指定する。</p> <p>(3) J-F.Gallay:22 Fantasies Mélodiques Op.58 (International Music Diffusion 版) ジャック＝フランソワ・ギャレ:22の旋律的幻想曲 作品58より1. (楽譜は使用してよい。)</p> <p>(4) GeorgesBarboteu:5PiecesPoetiquesenFa (Editions Choudens) G.バルボトゥー : 5つの詩的な小品へ長調 (Editions Choudens) より V (楽譜は使用してよい。)</p>
		ホ ル ン (H r)	<p>第二回</p> <p>(1) W. A. Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr. 4 Es-Dur K.495 (版指定なし) より 第1楽章 (カデンツァなし) 楽譜を使用してもよい。演奏箇所は当日指定する。 試験ではピアノ伴奏をつける。 ピアノ伴奏者は本学において用意する。</p> <p>(2) 初見視奏</p>

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器	管	金	<p>◎トランペット注意事項 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p>
	打	トランペット (Tp)	<p>※当日試験室に用意された楽譜を使用して演奏すること。</p> <p>第一回</p> <p>(1) Arban : Complete Grand Method (全音楽譜出版社版) より 長音階 P.65~P.80, 短音階 P.81 第 70~81 番まで 上記の中より当日指定する。 (注) 長音階第 16, 22, 28, 34, 41, 50, 56, 62, 68, 69 番は 除く。</p> <p>(2) C. Kopprasch : 60 Etudes for Trumpet (全音楽譜出版社版) 第 15, 18, 22, 24, 28, 30, 33, 37, 38, 39, 44, 46, 47, 49, 51 番の中より当日指定する。</p> <p>(3) Théo Charlier : Trente-six Etudes Transcendantes Pour Trompette, Cornet à Pistons ou Bugle Si ♭ Nouvelle édition (Leduc 版) No.6, 7 より 当日指定する。</p>
楽	楽	管	<p>第二回</p> <p>(1) VASSILY BRANDT : concertpiece No.1 (版は指定しない)</p> <p>(2) 初見視奏 (注) B ♭ 管トランペットを使用すること。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
器	管 金	<p>◎テナー・トロンボーン、バス・トロンボーン注意事項            ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。            ※暗譜を指定されたもの以外は、当日試験室に用意された楽譜を使用して演奏すること。</p>	
		<p>テナー・トロンボーン (TTb)</p>	<p>第一回</p> <p>(1) 音階            全ての調 (長調, 短調「自然, 和声, 旋律」) の中から当日指定する。但し, 下記のリズムパターンで演奏すること。暗譜で演奏のこと。            (例)  </p> <p>(2) E. Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music 版) より            下記の部分  </p> <p>第7ポジションまで演奏のこと。            (注) 暗譜で演奏のこと。</p> <p>(3) Brad Edwards (著, 出版) : 「Lip Slur Melodies」            A melodic approach to building tone and technique with lip slurs            より P.12 の No.2.3 (注) 暗譜で演奏のこと。</p> <p>(4) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版)            No.6, 13, 17, 25, 30, 34, 35, 48, 51            (注) (4)の演奏箇所は当日指定する。リピートは不要。</p>
		<p>打</p>	<p>第二回</p> <p>F. DAVID : Concertino in E♭, op.4 (Zimmermann 版) より            第1, 第2楽章            (注) 暗譜とする。演奏箇所は当日指定する。            試験ではピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は本学にて用意する。</p>
		<p>管 楽</p>	<p>第一回</p> <p>(1) 音階            全ての調 (長調, 短調「自然, 和声, 旋律」) の中から当日指定する。但し, 下記のリズムパターンで演奏すること。暗譜で演奏のこと。            (例)  </p> <p>(2) E. Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music 版) より            下記の部分  </p> <p>第7ポジションまで演奏のこと。            (注) 暗譜で演奏のこと。</p> <p>(3) Brad Edwards (著, 出版) : 「Lip Slur Melodies」            A melodic approach to building tone and technique with lip slurs            より P.34 の No.4.1 (注) 暗譜で演奏のこと。</p> <p>(4) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) より            No.11, (14), (19), 20, 21, 25, (42), 46, 50            (注) (4)の演奏箇所は当日指定する。            (4)の( )の曲は1オクターブ下げて演奏すること。他は記譜通り。            リピートは不要。</p> <p>第二回</p> <p>F. DAVID : Concerto (Concertino) in B♭ for Bass Trombone (Zimmermann 版) より第1, 第2楽章            (注) 暗譜とする。演奏箇所は当日指定する。            試験ではピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は本学にて用意する。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器	管	ユーフォニアム (Euph)	<p>◎ユーフォニアム注意事項</p> <p>※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>※暗譜を指定されたもの以外は、当日試験室に用意された楽譜を使用して演奏すること。</p> <p>第一回</p> <p>(1) 音階 全ての調（長調、短調「自然、和声、旋律」の中から当日指定する。但し、下記のリズムパターンで演奏すること。暗譜で演奏のこと。 (例)  </p> <p>(2) E. Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music 版) より 下記の部分  </p> <p>(注) 暗譜で演奏のこと。トロンボーン演奏に準ずる。</p> <p>(3) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.10~No.39 (No.34 は除く) より、当日指定する。 リピートは不要。</p> <p>第二回</p> <p>P. V. De la Nux : Solo de Concours pour Trombone et piano (Leduc 版), Concert Piece for Trombone or Baritone and Piano (Southern music company 版) どちらの版でもよい。 (注) 暗譜とする。カデンツァは記譜通りの音で演奏すること。 試験ではピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は本学にて用意する。</p>
		楽	チューバ (Tu)



科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	管	
	打楽器 (Pc)	<p style="text-align: center;"><b>第二回</b></p> <p><b>小太鼓</b></p> <p>(1) A. J. Cirone : Portraits in Rhythm (Belwin-Mills 版) No.4, 12, 13, 41, 43, 50 の中より当日指定する。</p> <p>(2) 鍵盤打楽器で音階 2 オクターブ演奏(各調の中より当日指定する。-Dolce, Staccato 等, 表情をつけて) (例)</p>  <p>(3) 三善晃 : 会話より 1, 3, 4 (音楽之友社・現代日本マリimba曲集Ⅱ)</p> <p><b>マリimba</b></p> <p>(1) 自由曲</p> <p>(2) 小太鼓による演奏 Collection Drum Solos (Ludwig Music 版, 又は Ludwig Masters 版) P.4~P.11 の中から当日指定する。 <u>(注) 小太鼓は, 各自持参すること。</u></p> <p><b>ティンパニ</b></p> <p>(1) E. Carter : EIGHT PIECES for Four Timpani (Associated Music Publishers 版) 「I. Saëta」「VII. Canaries」より当日指定する。</p> <p>(2) 小太鼓による演奏 Collection Drum Solos (Ludwig Music 版, 又は Ludwig Masters 版) P.4~P.11 の中から当日指定する。 <u>(注) 小太鼓は, 各自持参すること。</u></p> <p>(3) 鍵盤打楽器で音階 2 オクターブ演奏(各調の中より当日指定する。-Dolce, Staccato 等, 表情をつけて)(小太鼓の(2)譜例を参照のこと)</p> <p>(4) 三善晃 : 会話より 1, 3, 4 (音楽之友社・現代日本マリimba曲集Ⅱ)</p>
楽	楽	

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	古 チェンバロ (Cemb)	<p>◎古楽共通注意事項</p> <p>① ソロ及び伴奏に使えるチェンバロは、2段鍵盤フレンチタイプ (a'=415, 8'8"4', FF-f")のみとする。</p> <p>② バロックヴァイオリン、リコーダーの受験生はチェンバロ伴奏者を同伴すること。</p> <p>③ 課題曲の演奏順は任意とする。すべての受験生は、受験曲目提出用紙に演奏順に作品名を書いて、出願とともに学生募集係に提出すること。</p> <p>④ 演奏する作品のうち、チェンバロの課題②をのぞくすべての楽譜を、演奏順にコピーしA4判で一冊にまとめたものを4部作成し、出願とともに学生募集係に送付すること。当該楽譜は「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。封筒裏面には志願者の氏名および受付番号を必ず記入すること。</p>
	古 チェンバロ (Cemb)	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。)</p> <p>① G. Böhm : Suite, F-Dur (全楽章) ※Allemandeのみ前半の繰り返しを行うこと。</p> <p>② J. S. Bach : 15曲のSinfoniaから以下の11曲、 c-Moll (BWV 788), D-Dur (BWV 789), d-Moll (BWV 790), e-Moll (BWV 793), F-Dur (BWV 794), f-Moll (BWV 795), G-Dur (BWV 796), g-Moll (BWV 797), A-Dur (BWV 798), a-Moll (BWV 799), B-Dur (BWV 800)</p> <p>③ J. S. Bach : Das Wohltemperierte Klavier 第2巻より Praeludium und Fuga, dis-Moll (BWV 877)</p> <p>④ J.P.Rameau : L'Entretien des Muses (繰り返しはなし)</p> <p>⑤ 次の3曲のD. Scarlattiのソナタより任意の1曲 (繰り返しはなし) K.26 (A-Dur), K.57 (B-Dur), K.201 (G-Dur)</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
	楽 バロックヴァイオリン (BVn)	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。)</p> <p>① 17世紀イタリアのソナタ (例：D. Castello, B.Marini, G. P. Cimaらの作品) から1曲</p> <p>② F. Geminiani : The Art of playing on the violin (1751) のCompositionから1曲</p> <p>③ F. Couperin : 任意のコンセールから2つの楽章</p> <p>④ G. F. Handel, A. Corelli, J-M. Leclairのソナタより任意の1曲 (全楽章)</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
楽 リコーダー (Rec)	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。)</p> <p>① Giovanni Bassano : Ricercate, passaggi et cadentie より任意のRicercataを1曲 (リコーダー用に移調して演奏。使用リコーダー、ピッチは自由)</p> <p>② Jacques-Martin Hotteterre : Quatrième Suite. Sonate (Oeuvre V 1715年) より任意の3つの楽章 (バロックタイプのトレブルを使用しニ短調に移調して演奏。ピッチはa'=415。)</p> <p>③ G.F.Handel : Sonata HWV 360, 362, 365, 367a, 369, 377 より任意の1曲 (全楽章。バロックタイプのトレブルを使用。ピッチはa'=415)</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>	

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
指揮		第一回	<p>(1) 聴音 (a)単旋律及び複旋律(ピアノによる) (b)受験者に楽譜を与え、試験委員の行う演奏との相違点を指摘させ、聴覚的判断力、和声感覚の能力を試験する。</p> <p>(2) 新曲視唱</p> <p>(3) 課題曲 Ludwig van Beethoven : Symphonie Nr.2 op.36 全楽章の中より当日、部分を指定して指揮させる。 (ピアノによる)</p>
		第二回	<p>(1) 課題曲 Bartók Béla : Divertimento für Streichorchester 第1楽章の中より当日、部分を指定して指揮させる。(合奏による)</p> <p>(2) ピアノによる簡易なスコア初見視奏</p> <p>(3) 器楽試験 弦楽器(ハープを含む)、管打楽器又はピアノのいずれかにより任意の曲を演奏させる。</p> <p>(4) 音楽一般に関する試問 ※必要に応じて、ハーモニー、リズム等の適性検査を行うことがある。</p> <p>(注1) 第2回の(3)器楽試験においては、弦楽器及び管打楽器の種類選択は任意とし、楽譜視奏も差し支えないが、すべて無伴奏とする。</p> <p>(注2) 前号の器楽試験をピアノで受ける場合も、副科実技等の副科ピアノ試験は、別に受けなければならない。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲																																		
邦 三 味 線 音 楽 ・ 邦 楽 囃 子	<p>◎邦楽共通注意事項 受験者は、志願する部門に応じて下記の課題曲および自由曲を暗譜で演奏すること。 ただし、長唄・常磐津・清元の各志願者は、唄本（歌詞のみ）を用いてよい。 各専攻とも、第二回試験に面接を課す。</p>	<p>◎長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元・邦楽囃子共通 注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 三味線の試験においては、受験者には三味線のみを弾かせ、唄・浄瑠璃は係員が担当をする。唄・浄瑠璃の試験においてはその反対。</li> <li>2. 邦楽囃子の試験においては、「地」は係員が担当する。</li> <li>3. 上記1.及び2.に関わらず、各自の選んだ自由曲について、本学部が伴奏者の同伴を必要と判断した場合は、その旨を2026年2月中旬までに試験時連絡先へ通知する。この場合、受験者は試験当日伴奏者を同伴すること。</li> <li>4. 邦楽囃子の楽器は各自持参を原則とするが、長唄三味線は本学で用意した楽器を使用する。常磐津・清元三味線の楽器は各自持参すること。付属品（撥、指かけ、ひざゴム等）は各自持参すること。</li> <li>5. 邦楽囃子のうち、笛の受験者は能管及び4本から8本までの調子の竹笛を持参すること。竹笛の調子は試験当日に指定する。</li> <li>6. 唄、浄瑠璃の試験に関しては、扇子を持参すること。</li> <li>7. 邦楽一般及び三味線音楽について簡単な試問・調絃を行うことがある。</li> <li>8. 三味線音楽第2回Bにおいては、選択分野が三味線の場合、譜面使用不可（暗譜）とする。</li> <li>9. 邦楽囃子第2回Cにおいては、譜面使用可とする。</li> </ol>																																		
	<p>長唄三味線 常磐津三味線 清元三味線 長唄 常磐津 清元 邦楽囃子</p>	<p>◎長�三味線・常磐津三味線・清元三味線・長�・常磐津・清元・邦楽囃子共通 注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 三味線の試験においては、受験者には三味線のみを弾かせ、唄・浄瑠璃は係員が担当をする。唄・浄瑠璃の試験においてはその反対。</li> <li>2. 邦楽囃子の試験においては、「地」は係員が担当する。</li> <li>3. 上記1.及び2.に関わらず、各自の選んだ自由曲について、本学部が伴奏者の同伴を必要と判断した場合は、その旨を2026年2月中旬までに試験時連絡先へ通知する。この場合、受験者は試験当日伴奏者を同伴すること。</li> <li>4. 邦楽囃子の楽器は各自持参を原則とするが、長�三味線は本学で用意した楽器を使用する。常磐津・清元三味線の楽器は各自持参すること。付属品（撥、指かけ、ひざゴム等）は各自持参すること。</li> <li>5. 邦楽囃子のうち、笛の受験者は能管及び4本から8本までの調子の竹笛を持参すること。竹笛の調子は試験当日に指定する。</li> <li>6. 唄、浄瑠璃の試験に関しては、扇子を持参すること。</li> <li>7. 邦楽一般及び三味線音楽について簡単な試問・調絃を行うことがある。</li> <li>8. 三味線音楽第2回Bにおいては、選択分野が三味線の場合、譜面使用不可（暗譜）とする。</li> <li>9. 邦楽囃子第2回Cにおいては、譜面使用可とする。</li> </ol> <table border="1" data-bbox="614 958 1433 1413"> <thead> <tr> <th colspan="2">課題曲</th> </tr> <tr> <th>志願部門</th> <th>課題曲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">長�三味線 長�</td> <td>「老松」（四世杵屋六三郎作曲）</td> </tr> <tr> <td>「鶴亀」（十世杵屋六左衛門作曲）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">常磐津三味線 常磐津</td> <td>「千代の友鶴」（五世岸澤式佐作曲）</td> </tr> <tr> <td>「松島」（六世岸澤式佐作曲）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">清元三味線 清元</td> <td>「申酉」（初世清元齋兵衛作曲）</td> </tr> <tr> <td>「卯の花」（磯女作曲）</td> </tr> <tr> <td>邦楽囃子(小鼓)</td> <td>「鶴亀」（十世杵屋六左衛門作曲）</td> </tr> <tr> <td>〃(大鼓)</td> <td>「舌出三番叟」（二世杵屋正治郎作曲）</td> </tr> <tr> <td>〃(太鼓)</td> <td>「四季山姥」（十一世杵屋六左衛門作曲）</td> </tr> <tr> <td>〃(笛)</td> <td>「四季山姥」（十一世杵屋六左衛門作曲）</td> </tr> </tbody> </table> <p>当日、この曲の中より試験官の指定する曲とその箇所を演奏すること。</p> <p>第二回</p> <p>A. 自由曲1曲 明治45年（西暦1912年）以前に作曲された曲で、第1回課題曲を除いたものを選ぶこと。時間を要する曲で、上・中・下に分かれているものは、それぞれ各1曲とする。</p> <p>B. 邦楽囃子以外の志願者は、志願部門の課題曲より、下記区分に従い1曲を選ぶこと。</p> <table border="1" data-bbox="635 1666 1187 1883"> <thead> <tr> <th>志願部門</th> <th>選択分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長�三味線</td> <td>長�</td> </tr> <tr> <td>常磐津三味線</td> <td>常磐津</td> </tr> <tr> <td>清元三味線</td> <td>清元</td> </tr> <tr> <td>長�</td> <td>長�三味線</td> </tr> <tr> <td>常磐津</td> <td>常磐津三味線</td> </tr> <tr> <td>清元</td> <td>清元三味線</td> </tr> </tbody> </table> <p>C. 邦楽囃子の志願者は、長�三味線又は長�のいずれかの分野を選択し、以下の2曲の中から1曲を選ぶこと。 「供奴」（十世杵屋六左衛門作曲） 「五郎時致」（十世杵屋六左衛門作曲）</p>	課題曲		志願部門	課題曲	長�三味線 長�	「老松」（四世杵屋六三郎作曲）	「鶴亀」（十世杵屋六左衛門作曲）	常磐津三味線 常磐津	「千代の友鶴」（五世岸澤式佐作曲）	「松島」（六世岸澤式佐作曲）	清元三味線 清元	「申酉」（初世清元齋兵衛作曲）	「卯の花」（磯女作曲）	邦楽囃子(小鼓)	「鶴亀」（十世杵屋六左衛門作曲）	〃(大鼓)	「舌出三番叟」（二世杵屋正治郎作曲）	〃(太鼓)	「四季山姥」（十一世杵屋六左衛門作曲）	〃(笛)	「四季山姥」（十一世杵屋六左衛門作曲）	志願部門	選択分野	長�三味線	長�	常磐津三味線	常磐津	清元三味線	清元	長�	長�三味線	常磐津	常磐津三味線	清元
課題曲																																				
志願部門	課題曲																																			
長�三味線 長�	「老松」（四世杵屋六三郎作曲）																																			
	「鶴亀」（十世杵屋六左衛門作曲）																																			
常磐津三味線 常磐津	「千代の友鶴」（五世岸澤式佐作曲）																																			
	「松島」（六世岸澤式佐作曲）																																			
清元三味線 清元	「申酉」（初世清元齋兵衛作曲）																																			
	「卯の花」（磯女作曲）																																			
邦楽囃子(小鼓)	「鶴亀」（十世杵屋六左衛門作曲）																																			
〃(大鼓)	「舌出三番叟」（二世杵屋正治郎作曲）																																			
〃(太鼓)	「四季山姥」（十一世杵屋六左衛門作曲）																																			
〃(笛)	「四季山姥」（十一世杵屋六左衛門作曲）																																			
志願部門	選択分野																																			
長�三味線	長�																																			
常磐津三味線	常磐津																																			
清元三味線	清元																																			
長�	長�三味線																																			
常磐津	常磐津三味線																																			
清元	清元三味線																																			

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲		
邦楽	現代邦楽囃子	<p>◎現代邦楽囃子に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1・2回試験は譜面を使用してもよい。</li> <li>2. 第1・2回試験の小鼓以外の打楽器は本学が準備した楽器を使用すること。</li> <li>3. 第1・2回試験のパートや試験範囲は当日指定する。</li> <li>4. 第1・2回試験の笛（竹笛、能管）、バチ類は各自準備すること。</li> <li>5. 第1・2回試験ともに独奏で演奏すること。</li> <li>6. 課題曲の譜面が入手困難な場合は、本学音楽学部学生募集係に連絡すること。</li> </ol>		
		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="534 593 598 745">第一回</td> <td data-bbox="598 593 1449 745">笛・打楽器共通課題曲「颯踏」長澤勝俊作曲</td> </tr> <tr> <td data-bbox="534 745 598 1081">第二回</td> <td data-bbox="598 745 1449 1081"> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 課題曲            笛：「人形風土記」長澤勝俊作曲            「ダイヴェルティメント」佐藤敏直作曲            打楽器：「ダンスコンセルタント 第一番〈四季〉」三木稔作曲            「子どものための組曲」長澤勝俊作曲</li> <li>(2) 五線譜による初見視奏</li> <li>(3) 口頭試問</li> </ol> </td> </tr> </table>	第一回	笛・打楽器共通課題曲「颯踏」長澤勝俊作曲
第一回	笛・打楽器共通課題曲「颯踏」長澤勝俊作曲			
第二回	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 課題曲            笛：「人形風土記」長澤勝俊作曲            「ダイヴェルティメント」佐藤敏直作曲            打楽器：「ダンスコンセルタント 第一番〈四季〉」三木稔作曲            「子どものための組曲」長澤勝俊作曲</li> <li>(2) 五線譜による初見視奏</li> <li>(3) 口頭試問</li> </ol>			
楽	日本舞踊	<p>◎日本舞踊に関する注意事項</p> <p>小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。          なお、着物・扇子・手拭いの種類は指定しない。</p>		
		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="534 1234 598 1498">第一回</td> <td data-bbox="598 1234 1449 1498"> <p>課題曲2曲 男形 常磐津「夕月船頭」            女形 長唄「蓬菜」</p> <p>本学で用意した録音テープで、試験官の指定した箇所を踊る。</p> <p>(注) 長唄は芳村伊十郎全集、常磐津は邦楽舞踊シリーズ [常磐津]より、常磐津千東勢太夫の演奏による録音テープを使用する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="534 1498 598 1845">第二回</td> <td data-bbox="598 1498 1449 1845"> <ol style="list-style-type: none"> <li>A. 自由曲1曲            課題曲を除いた曲を選ぶ。            当日録音テープ、もしくは録音CDを持参、提出し、試験官の指定する箇所を踊る。</li> <li>B. 口頭試問            舞踊に関する基本的な試問を行う。</li> <li>C. 試験官の用意した振付を三回見て覚え、その場で同じ振りを踊る。</li> </ol> </td> </tr> </table>	第一回	<p>課題曲2曲 男形 常磐津「夕月船頭」            女形 長唄「蓬菜」</p> <p>本学で用意した録音テープで、試験官の指定した箇所を踊る。</p> <p>(注) 長唄は芳村伊十郎全集、常磐津は邦楽舞踊シリーズ [常磐津]より、常磐津千東勢太夫の演奏による録音テープを使用する。</p>
第一回	<p>課題曲2曲 男形 常磐津「夕月船頭」            女形 長唄「蓬菜」</p> <p>本学で用意した録音テープで、試験官の指定した箇所を踊る。</p> <p>(注) 長唄は芳村伊十郎全集、常磐津は邦楽舞踊シリーズ [常磐津]より、常磐津千東勢太夫の演奏による録音テープを使用する。</p>			
第二回	<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 自由曲1曲            課題曲を除いた曲を選ぶ。            当日録音テープ、もしくは録音CDを持参、提出し、試験官の指定する箇所を踊る。</li> <li>B. 口頭試問            舞踊に関する基本的な試問を行う。</li> <li>C. 試験官の用意した振付を三回見て覚え、その場で同じ振りを踊る。</li> </ol>			

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
邦 楽	箏	<p>◎箏曲共通注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1回・第2回試験とも暗譜で演奏すること。</li> <li>2. 試験は、箏は立奏（椅子）で行う。三絃は立奏でも座奏でもよい。</li> <li>3. 演奏箇所は試験の際に指示する。</li> <li>4. 第2回試験（箏）は、曲名・作曲者名を曲目提出用紙に記入すること。また本手・替手・高音・低音・第1・第2などの区別のある曲は、どのパートで受験するか曲目提出用紙に記入すること。</li> <li>5. 邦楽一般、及び箏曲について簡単な試問を行うことがある。</li> </ol> <p>◎山田流に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原則として箏・三絃ともに各自持参の楽器を使用するが、本学で用意した箏（テトロン糸18匁）・三絃（絹糸）の使用も可能である。なお、曲目提出用紙の所定欄に持参・借用の区別を記入すること。</li> <li>2. 箏の一次試験、二次試験のうち、どちらかの試験で必ず「歌曲」を選択すること。（一次試験では、*印の曲目を「歌曲」とする。）</li> <li>3. 調弦は、試験室に入室後、改めて取り直し、審査対象の内とする。又、調子替等、印付けは一際不可とする。</li> </ol> <p>◎生田流試験に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 箏は本学で用意した楽器（テトロン糸）を使用する。</li> <li>2. 三絃は原則として各自の楽器を使用するが、本学で用意した楽器（絹糸）を使用することもできる。（曲目提出用紙に、持参・借用の区別を記入すること。）</li> <li>3. 調弦はチューナーなどを持ち込まず、試験官が提示する基音から行うこと。</li> <li>4. 第一回、第二回試験とも課題曲・自由曲は暗譜で演奏する。</li> </ol> <p>◎現代箏曲試験に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第一回、第二回試験とも課題曲・自由曲は暗譜で演奏する。</li> <li>2. 演奏は立奏（椅子）で行う。</li> <li>3. 演奏範囲はそれぞれ、曲の冒頭から試験官が止めるまで演奏すること。任意の箇所を指定する場合もある。</li> <li>4. 箏は本学で用意した楽器（テトロン糸）を使用する。</li> <li>5. 山田流・生田流どちらで受験しても構わない。</li> </ol> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>
	楽 曲	

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲											
邦楽	箏	山田流	<p>第一回</p> <p>箏：課題曲1曲 下記の中から1曲を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="657 338 1417 450"> <tr> <td>*「江の島曲」</td> <td>山田検校</td> <td>作曲</td> </tr> <tr> <td>*「白の聲」</td> <td>三世山登松齡</td> <td>作曲</td> </tr> <tr> <td>「都の春」</td> <td>三代山勢松韻</td> <td>作曲</td> </tr> </table>	*「江の島曲」	山田検校	作曲	*「白の聲」	三世山登松齡	作曲	「都の春」	三代山勢松韻	作曲	
		*「江の島曲」	山田検校	作曲									
	*「白の聲」	三世山登松齡	作曲										
	「都の春」	三代山勢松韻	作曲										
山田流	<p>第二回</p> <p>箏：自由曲1曲 1. 第一回の受験曲を除いた古典・近代曲より選曲。 (第一回で受験した箏課題曲で選択した曲以外の課題曲2曲からも選択できる。) 2. 別科を併願する場合は、別科課題曲を除く。 3. 課題曲・自由曲のうち、どちらかは必ず「歌物」を選曲すること。両方「歌物」を選曲することも可。 尚、課題曲中の「*」を「歌物」とする。</p> <p>三絃：課題曲1曲 下記の中から1曲を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="657 748 1417 824"> <tr> <td>「秋の七草」</td> <td>文部省音楽取調掛</td> <td>作曲</td> </tr> <tr> <td>「子の日の遊」</td> <td>二世 山木太賀一</td> <td>作曲</td> </tr> </table>	「秋の七草」	文部省音楽取調掛	作曲	「子の日の遊」	二世 山木太賀一	作曲						
「秋の七草」	文部省音楽取調掛	作曲											
「子の日の遊」	二世 山木太賀一	作曲											
生田流	<p>第一回</p> <p>箏：課題曲1曲 下記の中から2曲を選択し、試験当日そのうちの1曲を受験者が抽選により決定する。</p> <table data-bbox="657 927 1422 1048"> <tr> <td>「春の曲(本手)」</td> <td>(吉沢検校作曲)</td> <td>一は壱越(D)</td> </tr> <tr> <td>「けしの花」</td> <td>(菊岡検校作曲)</td> <td>一は壱越(D)</td> </tr> <tr> <td>「楓の花」</td> <td>(松坂検校作曲)</td> <td>一は神仙(C)</td> </tr> <tr> <td>「桜川」</td> <td>(光崎検校作曲)</td> <td>一は双調(G)</td> </tr> </table>	「春の曲(本手)」	(吉沢検校作曲)	一は壱越(D)	「けしの花」	(菊岡検校作曲)	一は壱越(D)	「楓の花」	(松坂検校作曲)	一は神仙(C)	「桜川」	(光崎検校作曲)	一は双調(G)
「春の曲(本手)」	(吉沢検校作曲)	一は壱越(D)											
「けしの花」	(菊岡検校作曲)	一は壱越(D)											
「楓の花」	(松坂検校作曲)	一は神仙(C)											
「桜川」	(光崎検校作曲)	一は双調(G)											
生田流	<p>第二回</p> <p>箏：自由曲1曲 1909(明治42)年以降に作曲、又は手付された曲。ただし、楽章単位ではなく1曲単位で受験すること。</p> <p>三絃：課題曲1曲 下記の中から1曲を選択する。</p> <table data-bbox="657 1240 1422 1339"> <tr> <td>「六段」</td> <td>(八橋検校作曲[伝])</td> <td>Iの糸は壱越(D)</td> </tr> <tr> <td>「難波獅子」</td> <td>(継橋検校作曲)</td> <td>Iの糸は壱越(D)</td> </tr> <tr> <td>「都踊」</td> <td>(宮城道雄作曲)</td> <td>Iの糸は壱越(D)</td> </tr> </table>	「六段」	(八橋検校作曲[伝])	Iの糸は壱越(D)	「難波獅子」	(継橋検校作曲)	Iの糸は壱越(D)	「都踊」	(宮城道雄作曲)	Iの糸は壱越(D)			
「六段」	(八橋検校作曲[伝])	Iの糸は壱越(D)											
「難波獅子」	(継橋検校作曲)	Iの糸は壱越(D)											
「都踊」	(宮城道雄作曲)	Iの糸は壱越(D)											
楽曲	現代箏曲	現代箏曲	<p>第一回</p> <p>箏：課題曲2曲 下記4曲のうち2曲を選び、曲目提出用紙に記入し提出すること。</p> <table data-bbox="657 1406 1166 1525"> <tr> <td>「綺羅」</td> <td>(杵屋正邦作曲)</td> </tr> <tr> <td>「鳥のように」</td> <td>(沢井忠夫作曲)</td> </tr> <tr> <td>「三つの断章」</td> <td>(中能島欣一作曲)</td> </tr> <tr> <td>「祭の太鼓」</td> <td>(宮城道雄作曲)</td> </tr> </table>	「綺羅」	(杵屋正邦作曲)	「鳥のように」	(沢井忠夫作曲)	「三つの断章」	(中能島欣一作曲)	「祭の太鼓」	(宮城道雄作曲)		
		「綺羅」	(杵屋正邦作曲)										
「鳥のように」	(沢井忠夫作曲)												
「三つの断章」	(中能島欣一作曲)												
「祭の太鼓」	(宮城道雄作曲)												
現代箏曲	<p>第二回</p> <p>(1) 箏：自由曲1曲 ・1950年以降に作曲された「箏独奏曲」より選曲すること。 ・自作曲は不可。 ・演奏する楽曲の楽譜を提出すること(全曲)。 ・楽譜の書式は問わない(五線譜・縦譜・横譜等)。 ・楽譜は任意の封筒を使用して、書留速達扱いで出願と同時に、他必要書類と別便で郵送すること。送り先は必要書類送付先と同所とする。 ・提出された楽譜は返却しない。</p> <p>(2) 口頭試問</p>												

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲		
邦	尺八	<p>◎尺八に関する注意事項</p> <p>1. 尺八受験者は出願の際、琴古流・都山流のいずれかを選択し、出願すること。</p> <p>2. 全曲暗譜とする。</p>		
		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="534 416 598 586">第一回</td> <td data-bbox="598 416 1449 586"> <p>選択曲 1曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 琴古流「三谷菅垣」「雲井獅子」 都山流「朝風」「峰の月」(流祖中尾都山作曲) 五孔の一尺八寸管(竹製)を用いること。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="534 586 598 1205">第二回</td> <td data-bbox="598 586 1449 1205"> <p>課題曲 1曲 尺八本曲 琴古流「一二三鉢返調」 都山流「木枯」(流祖中尾都山作曲)</p> <p>選択曲 2曲 ①外曲古典 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 「近江八景」「白の声」「楫枕」「茶湯音頭」</p> <p>②外曲新曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 「赤壁賦」(中能島欣一作曲) 「春の訪れ」(宮城道雄作曲) 「春の海」(宮城道雄作曲) ※②の外曲新曲については、五孔の一尺六寸管(竹製)を用いること。</p> <p>ア. 五孔尺八の一尺八寸管及び一尺六寸管(竹製)を用いること。 イ. 演奏箇所は、試験の際に指示する。 ウ. 演奏は、椅子又は立姿勢で行う。 エ. 邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。</p> </td> </tr> </table>	第一回	<p>選択曲 1曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 琴古流「三谷菅垣」「雲井獅子」 都山流「朝風」「峰の月」(流祖中尾都山作曲) 五孔の一尺八寸管(竹製)を用いること。</p>
第一回	<p>選択曲 1曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 琴古流「三谷菅垣」「雲井獅子」 都山流「朝風」「峰の月」(流祖中尾都山作曲) 五孔の一尺八寸管(竹製)を用いること。</p>			
第二回	<p>課題曲 1曲 尺八本曲 琴古流「一二三鉢返調」 都山流「木枯」(流祖中尾都山作曲)</p> <p>選択曲 2曲 ①外曲古典 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 「近江八景」「白の声」「楫枕」「茶湯音頭」</p> <p>②外曲新曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 「赤壁賦」(中能島欣一作曲) 「春の訪れ」(宮城道雄作曲) 「春の海」(宮城道雄作曲) ※②の外曲新曲については、五孔の一尺六寸管(竹製)を用いること。</p> <p>ア. 五孔尺八の一尺八寸管及び一尺六寸管(竹製)を用いること。 イ. 演奏箇所は、試験の際に指示する。 ウ. 演奏は、椅子又は立姿勢で行う。 エ. 邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。</p>			
楽	能 (囃子を除く)	<p>◎能楽に関する注意事項</p> <p>1. 第1回、第2回とも観世流、宝生流、下掛宝生流、和泉流のいずれかで受験すること。</p> <p>2. 能楽について簡単な試問を行うことがある。</p> <p>3. 受験者は黒紋付、袴、白足袋着用の上、無本(暗譜)のこと。</p>		
		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="534 1370 598 1805">第一回</td> <td data-bbox="598 1370 1449 1805"> <p>(イ) シテ方(観世流及び宝生流) (A) 謡曲 「羽衣」クセ上げより終わりまで、及び「船弁慶」後シテの出より終わりまで (B) 仕舞 「嵐山」キリ</p> <p>(ロ) ワキ方(下掛宝生流) (A) 謡曲 「羽衣」クセ上げより終わりまで、及び「船弁慶」後シテの出より終わりまで (B) 仕舞 「紅葉狩」クセ</p> <p>(ハ) 狂言方(和泉流) (A) 謡曲 「海道下り」及び「宇治の晒」 (B) 小舞 「七つ子」 ただし、謡曲の謡う部分については、当日指定する。</p> </td> </tr> </table>	第一回	<p>(イ) シテ方(観世流及び宝生流) (A) 謡曲 「羽衣」クセ上げより終わりまで、及び「船弁慶」後シテの出より終わりまで (B) 仕舞 「嵐山」キリ</p> <p>(ロ) ワキ方(下掛宝生流) (A) 謡曲 「羽衣」クセ上げより終わりまで、及び「船弁慶」後シテの出より終わりまで (B) 仕舞 「紅葉狩」クセ</p> <p>(ハ) 狂言方(和泉流) (A) 謡曲 「海道下り」及び「宇治の晒」 (B) 小舞 「七つ子」 ただし、謡曲の謡う部分については、当日指定する。</p>
		第一回	<p>(イ) シテ方(観世流及び宝生流) (A) 謡曲 「羽衣」クセ上げより終わりまで、及び「船弁慶」後シテの出より終わりまで (B) 仕舞 「嵐山」キリ</p> <p>(ロ) ワキ方(下掛宝生流) (A) 謡曲 「羽衣」クセ上げより終わりまで、及び「船弁慶」後シテの出より終わりまで (B) 仕舞 「紅葉狩」クセ</p> <p>(ハ) 狂言方(和泉流) (A) 謡曲 「海道下り」及び「宇治の晒」 (B) 小舞 「七つ子」 ただし、謡曲の謡う部分については、当日指定する。</p>	
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="534 1805 598 1930">第二回</td> <td data-bbox="598 1805 1449 1930"> <p>謡曲及び仕舞または小舞自由曲1曲ずつ(ただし、第1回および別科の課題曲を除く。) 謡曲はツヨ吟とヨワ吟のある曲を選ぶこと。 謡曲の謡う部分については、当日指定する。</p> </td> </tr> </table>	第二回	<p>謡曲及び仕舞または小舞自由曲1曲ずつ(ただし、第1回および別科の課題曲を除く。) 謡曲はツヨ吟とヨワ吟のある曲を選ぶこと。 謡曲の謡う部分については、当日指定する。</p>		
第二回	<p>謡曲及び仕舞または小舞自由曲1曲ずつ(ただし、第1回および別科の課題曲を除く。) 謡曲はツヨ吟とヨワ吟のある曲を選ぶこと。 謡曲の謡う部分については、当日指定する。</p>			

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
邦	能楽囃子	<p>◎能楽囃子に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下記の曲を一噌流, 幸流, 高安流, 観世流(太鼓)のいずれかで受験すること。</li> <li>2. 笛, 小鼓, 太鼓の試験に際しては, 各自持参の楽器を使用してもよい。ただし, 太鼓については, 楽器を使用しない。</li> <li>3. 地謡の流儀は観世流, または宝生流のいずれかを選ぶこと。</li> <li>4. 能楽について簡単な試問を行うことがある。</li> <li>5. 受験者は黒紋付, 袴, 白足袋着用の上、無本(暗譜)のこと。</li> </ol>
		<p>第一回</p> <p>囃子 下記(イ)～(ニ)より受験する楽器及び課題曲をひとつ選択。</p> <p>(イ) 笛 (一噌流) 「神舞」三段 (ロ) 小鼓 (幸流) 「薪之段」鉢木 (ハ) 太鼓 (高安流) 「東北」クセ (ニ) 太鼓 (観世流) 「巻絹」キリ</p>
		<p>第二回</p> <p>囃子 自由曲(ただし, 第1回及び別科の課題曲を除く。) 謡曲 下記の中から1曲を自由選択。(ただし観世流, または宝生流のいずれかで受験すること。)</p> <p>(イ) 「羽衣」クセ上げより終わりまで (ロ) 「船弁慶」後シテの出より終わりまで (ハ) 「経正(政)」クセ上げより終わりまで</p>
楽	雅楽 箏 龍 笙 篳 篥 笛	<p>◎雅楽に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 雅楽専攻で受験できる楽器は「笙」, 「篳篥」, 「龍笛」各専攻の竹製楽器とする。</li> <li>2. 実技試験は, 管絃吹で行う。</li> </ol>
		<p>第一回</p> <p>(A) 下記の3曲より1曲を指定し, 暗譜による「唱歌テスト」を行う。 (B) 下記の3曲より1曲を指定し, 暗譜による「音取」及び「実技テスト」を行う。</p> <p>課題曲</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平調「老君子」</li> <li>2. 黄鐘調「西王楽破」</li> <li>3. 盤渉調「千秋楽」</li> </ol>
		<p>第二回</p> <p>(C) 下記の課題曲より第1回試験の(A)及び(B)の試験を再度行う。 (D) 「舞」の為のリズムテスト (E) 「雅楽」についての試問をする。</p> <p>課題曲</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 壱越調「胡飲酒破」</li> <li>2. 双調「武徳楽」</li> <li>3. 太食調「合歡塩」</li> </ol>

## 2027 年度東京藝術大学音楽学部入学者選抜試験における邦楽科実技試験の変更について（予告）

2027 年度より，東京藝術大学音楽学部入学者選抜試験における邦楽科実技試験を以下のとおり変更します。

### 試験科目一覧

#### 2026 年度入学者選抜まで

試験科目 学科等	専攻実技等	音楽に関する基礎能力検査				副科実技等				面接	大学入学共通テスト		
		聴音書き取り	楽典	新曲視唱	リズム課題	副科ピアノ	副科ピアノ以外の副科実技	ピアノ新曲	和声		国語	外国語	地理歴史，公民，数学，理科，情報から1教科
邦楽科	第1回，第2回		○							○	○	○	

#### 2027 年度入学者選抜以降

試験科目 学科等	専攻実技等	音楽に関する基礎能力検査				副科実技等				面接	大学入学共通テスト		
		聴音書き取り	楽典	新曲視唱	リズム課題	副科ピアノ	副科ピアノ以外の副科実技	ピアノ新曲	和声		国語	外国語	地理歴史，公民，数学，理科，情報から1教科
邦楽科	第1回， <u>第2回</u>		○							○	○	○	

※赤字下線箇所が変更点です。

試験内容及び課題曲等の詳細については2027年度試験内容及び課題曲（2026年10月上旬公開予定）にてご案内します。

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
楽 理		第一回	1. 国語（試験時間：2時間） 現代の国語・言語文化・古典探究 2. 外国語（試験時間：2時間） 英語（英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ）、ドイツ語、フランス語のうち1科目を選択する。
		第二回	小論文（含、口述試問。試験時間：筆記2時間） 音楽学の学習に必要な基礎的能力を問う課題文。（課題は当日出題する。）
音 楽 環 境 創 造		第一回	学力検査〔音楽（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）〕（60分） ※高等学校で使用されている音楽の教科書「音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」程度を出題範囲とする。
		第二回	小論文および面接（表現を含む）  ●小論文（120分）  ●面接（20分）表現を含む。 ○表現 下記の1～3のいずれかを選択し（出願時に選択、複数選択も可）、制限時間内（5分）で行うこと。 1. 演奏（コンピュータ・電子楽器等も可） ※表現能力・創作能力などをアピールしたい場合 2. パフォーマンス（演奏以外の表現。複合的表現を含む。） ※演奏以外の表現力や感性をアピールしたい場合 3. プレゼンテーション（パネルやチャート図等によるプランの提示、楽譜等の作品、研究計画書等） ※企画・アイデアをアピールしたい場合  （表現の注意事項） ・1人でできるもの（伴奏者・共演者は認めない。） ・セッティングを含めて5分以内で終了すること。 ・グランドピアノは用意されている。それ以外の楽器は各自持参すること。 ・A V機器（CD/DVD/Blu-ray, HDMI ケーブル, ステレオミニフォンプラグのケーブル）は用意されている。 ・コンピュータを持参して使用することは可能だが、機器についてのサポートは一切与えられないので、全て自己責任にて用意すること。 ・「2. パフォーマンス」を行う試験場の床は一般的なフローリングである。床を傷つけないような演目、靴、衣装であること。 （パフォーマンスで使用できる広さは、幅約8m×奥行き約6m。天井の高さは約2m30cm。）
		●音楽環境創造科受験者の志望理由書の提出について 音楽環境創造科志願者は、志望理由書（800字以内。本学所定の用紙に手書きで記入のこと）を出願時に、他必要書類とともに提出すること。志望理由書は面接時の参考とする。	

## イ. 音楽に関する基礎能力検査及び副科実技等

### ① 音楽に関する基礎能力検査

#### 1. 筆記試験

##### a) 聴音書き取り (試験時間: 約 30 分)

作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。(44 ページの例題程度)

単旋律 (1 題, 記憶聴音)

複旋律 (1 題)

四声体和声 (1 題)

##### b) 楽典 (試験時間 1 時間)

音楽環境創造科を除く全科の志願者に課す。和声・楽式等作曲法の内容は含まない。

#### 2. 実技試験

##### a) 新曲視唱 (1 題)

歌詞を伴わない初見唱。作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。

(45 ページの例題程度)

##### b) リズム課題 (1 題)

作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。(45 ページの例題程度)

聴音書き取り例題

単旋律（記憶聴音）

♩ = 52

複旋律

♩ = 54

四声体和声

♩ = 52

新曲視唱例題

●作曲科，器楽科，楽理科志願者

♩ = 60

●声楽科志願者

♩ = 48

リズム課題例題

手で拍を振りながら，下記のリズムを音程をつけずに音名で読みなさい。

●作曲科，器楽科，楽理科志願者

♩ = 60 ca.

●声楽科志願者

♩ = 60 ca.

② 副科実技等

1. 副科ピアノ

受験者区分	試験内容及び課題曲等
<p>作曲科 器楽科 (オルガンのみ) 指揮科 楽理科 (ピアノでの志願者)</p>	<p>次の(イ), (ロ), (ハ) から1つ選択すること。</p> <p>(イ) J.S.Bach : Das Wohltemperierte Klavier 平均律ピアノ曲集第1巻, 第2巻より任意の1曲 (Praeludium 及び Fuga の両方を準備すること。)</p> <p>(ロ) L.v.Beethoven : Klaviersonaten Op.2 No.1, 2, 3 Op. 7 Op.10 No.1, 2, 3 Op.13 Op.14 No.1, 2 Op.22</p> <p>の中から1曲を選び, その第1楽章</p> <p>(ハ) F.Chopin : 練習曲集 Op.10, 25 より任意の1曲</p> <p>(注) いずれも暗譜とする。繰り返しなし。</p>
<p>声乐科 器楽科 (弦楽, 管打楽)</p>	<p>(1) 音階 : Hanon No.39 の中から当日指定する。 同一調号による長調と短調 但し速度を ♩ = 100 程度以上とする。 (注) 長調の音階は繰り返しなし。短調の音階は和声的短音階を1回弾いた後, 続けて旋律的短音階を1回弾き, 終止形をつけて終わる。</p> <p>(2) 下記のソナチネ, ソナタより1曲を選び, その第1楽章。 Kuhlau : Op.20 No.1,2,3 Op.55 No.1,2,3 Clementi : Op.36 No.2,3,4,5,6 Haydn : Hob. XVI/35 (C-dur) Mozart : KV 545 (C-dur) Beethoven : Op.49 No.1 g-moll, 2 G-dur 版によってナンバーが違う可能性があるので注意すること。 Dusseck : Op.20 No.1</p> <p>(注) (1), (2)とも暗譜とする。繰り返しなし。</p>

## 2. ピアノ以外の副科実技（楽理科のみ）

受験者区分	試験内容及び課題曲等
<p>楽理科は、ピアノ以外の右記の楽器等により副科実技を受験することができる。</p>	<p>オルガン・チェンバロ・弦楽器・管楽器・打楽器・邦楽器（三味線・箏・尺八・邦楽囃子・能楽囃子・雅楽）</p> <p>ただし、弦楽器・管楽器で受験する場合に使用できる楽器は、器楽科弦楽専攻・管楽専攻の志願者が出願できる楽器に限る。</p> <p>打楽器で受験する場合に使用できる楽器は、小太鼓（持ち込み可）またはマリмбаに限る。</p> <p>試験曲は、ヴァイオリン及び邦楽器の場合を除き自由曲である。</p> <p><b>ヴァイオリン課題曲</b>  W.A.Mozart：Violin Concerto No.3 in G major, K.216 より  第1楽章, Allegro  （注） Cadenza を除く。暗譜とし、伴奏なし。</p> <p><b>邦楽課題曲</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三味線  「小鍛冶」（二世杵屋勝五郎作曲）</li> <li>・ 箏曲（山田流）  「秋の七草」（音楽取調掛作）</li> <li>・ 箏曲（生田流）  「春の曲」（吉沢検校作曲） 一＝壱越(D)</li> <li>・ 尺八（琴古流・都山流）共通  「六段の調」（八橋検校作曲）</li> <li>・ 邦楽囃子  「五郎時致」（三升屋二三治作詞，十世杵屋六左衛門作曲）  （注） 四拍子の中より一つを選択する。</li> <li>・ 能楽囃子  笛 「中ノ舞」  小鼓「羽衣クセ」  大鼓「羽衣クセ」  太鼓「鶴亀キリ」</li> <li>・ 雅楽  平調「越殿楽」  （注） 管楽器の中より一つを選択する。</li> </ul> <p>※上記いずれかの楽器で受験した場合は、副科ピアノを受験する必要はない。</p>

## 3. ピアノ新曲

受験者区分	試験内容及び課題曲等
<p>作曲科</p>	<p>初見奏</p>

4. 和声

受験者 区分	試 験 内 容 及 び 課 題 曲 等
指 揮 科 ・ 楽 理 科	<p>指揮科及び楽理科志願者のみに課す。            試験時間は1時間30分。            与えられた数字付低音によるバス及びソプラノ声部に、それぞれ四声体の和声を作成する。            指揮科課題，楽理科課題とも三和音の基本形と転回形のみ。転調は含まない。</p>
	<p>【例題】</p> <p>1)            次の数字付き低音によるバス課題を四声体で実施しなさい。</p>  <p>2)            次のソプラノ課題を四声体で実施し，可能であればバス声部の下に和音数字（5,6 など）を書きなさい。</p> 

## II 別科 5. 試験内容及び試験曲

別科入学者選抜試験は、本表「試験内容及び課題曲」に記載された内容についてのみ行う。

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
声 楽	ソプラノ(S) アルト(A) (メゾソプラノを含む) テノール(T) バス(B) (バリトンを含む)	自由曲1曲を暗譜で演奏する。  (注) 1. 歌曲(および一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む)の場合、いずれの調で演奏してもよいが、オペラおよびオラトリオ等のアリアは原調で演奏すること(ただし、オペラのアリアで慣習的に移調が認められている場合を除く)。 2. 演奏時間は4分以内とする。試験官の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。 3. 伴奏楽器はピアノとし、楽器および伴奏者は本学で用意する。志願者が試験時に伴奏者を同伴することは認めない。 4. 志願者は、ピアノ伴奏用の楽譜を出願時に提出すること。伴奏者は提出された楽譜を使用するので、調性等に誤りがないか確認し、本要項7頁の音楽科志願者に対する注意事項「2. 伴奏楽譜について」の(2)により楽譜の体裁を整えること。楽譜提出後の曲目、調性等の変更は一切認めない。 5. 男性で、ソプラノまたはアルトの音域を演奏する志願者は、それぞれ該当する声種に出願すること。
	ピ ア ノ (Pf)	次の11曲から1曲を選択し、その第1楽章と終楽章を用意すること。ただし、第21番を選択した者は、第1楽章とロンドを、また第30番を選択した者は、第1楽章と第2楽章を用意すること。 Beethoven: ピアノソナタ ・第2番イ長調作品2-2 ・第3番ハ長調作品2-3 ・第4番変ホ長調作品7 ・第6番ヘ長調作品10-2 ・第7番ニ長調作品10-3 ・第11番変ロ長調作品22 ・第16番ト長調作品31-1 ・第18番変ホ長調作品31-3 ・第21番ハ長調作品53「ワルトシュタイン」 ・第26番変ホ長調作品81a ・第30番ホ長調作品109  I) 演奏はすべて暗譜とする。 II) 繰り返しは省略すること。 III) 当日、時間の都合により一部を省略させることがある。
器   楽	オルガン (Org)	自由曲 (注) 実技試験の行われるオルガンの仕様については、本冊子学部オルガン専攻の頁を参照すること。当日、時間の都合により一部省略させることがある。演奏後に簡単な面接を行うことがある。
	ヴィオラ (Va)	C. Stamitz: Viola concerto No.1 ニ長調(D-dur) より 第1楽章 Allegro (カデンツァ付き) ※Henle版を使用し、カデンツァはCadenza Bを演奏すること。 (注) 暗譜とし、伴奏無しとする。場合により一部を省略させることがある。
	チェロ (Vc)	次のうち、任意の1曲を選んで演奏すること。 (A) J. Haydn: Concerto C major 第1楽章(楽譜は何版を使ってもよい)。 Cadenzaは除く。 (B) C. Saint-Saëns: Concerto A minor Op.33 第1楽章 (C) E. Lalo: Concerto D minor 第1楽章(初めから117小節Lentoまで) (注) 暗譜とし、伴奏無しとする。場合により一部を省略させることがある。
	コントラバス (Cb)	自由曲 (注) 暗譜とし、伴奏無しとする。場合により一部を省略させることがある。
	ハープ (Hp)	自由曲 (注) 暗譜とする。場合により一部を省略させることがある。

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
器 木	フルート (Fl)	<p>※試験はすべて無伴奏とする。            ※特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。            ※出版社の指定のないものは、何版にても可。            ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>(1) 音階 学部第一回試験内容に準ずる。            (2) Mozart : Konzert für Flöte und Orchester K. 314 より第1楽章, 第2楽章</p>
	オーボエ (Ob)	<p>※試験はすべて無伴奏とする。            ※特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。            ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。            ※音階課題は課さない。</p> <p>(1) W. A. Mozart : Konzert für Oboe und Orchester C-Dur KV 314            (Bärenreiter 版) 全楽章・カデンツァあり。            暗譜のこと。演奏箇所は当日指定する。</p> <p>(2)オーケストラ・スタディ            《Orchester Probespiel by Miller / Liebermann》(Peters 版) より            ・G. Rossini : Die Seidene Leiter            ・L.van Beethoven Sinfonie Nr.3 第2,3,4楽章 演奏箇所は当日指定する。</p>
	クラリネット (Cl)	<p>※試験はすべて無伴奏とする。            ※特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。            ※出版社の指定のないものは、何版にても可。            ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。            ※すべての課題をA管のソプラノクラリネットで演奏すること。</p> <p>(1) 音階 および分散和音(主和音) 学部第一回試験に準ずる。            (2) W. A. Mozart : Konzert A-dur Kv. 622 第1楽章, 第2楽章            (3) H.Hepp, A.Rohde (編) : Orchester-Probespiel / Klarinette(Petes)より            Z.Kodály : Tänze aus Galanta</p>
	ファゴット (Fg)	<p>※試験はすべて無伴奏とする。            ※特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。            ※出版社の指定のないものは、何版にても可。            ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>(1) 音階 学部第一回試験内容に準ずる。            (2) C. M. v. Weber : Concerto for Bassoon 第2, 3楽章(何版にても可)</p>
	サクソフォーン (Sx)	<p>※試験はすべて無伴奏とする。            ※特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。            ※出版社の指定のないものは、何版にても可。            ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>(1) 音階 学部第一回試験内容に準ずる。            (2) J. Ibert : Concertino da Camera (Leduc 版)</p>
楽 管		





専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲	
器 古 楽	<p>◎古楽共通注意事項</p> <p>① ソロおよび伴奏に使えるチェンバロは、2段鍵盤フレンチタイプ (a'=415, 8'8"4, FF-f") のみとする。</p> <p>② 実技試験の行われるオルガンの仕様については、学部オルガン専攻の項を参照すること。</p> <p>③ フォルテピアノは、18世紀末ウィーン式モデル (a' =430, 音域 FF-g''') である。</p> <p>④ 必要な伴奏者 (チェンバロ) は同伴すること。ただし、オブリガートパートが必要な場合は、すべてチェンバロで代用すること。</p> <p>⑤ すべての受験者は、曲目提出用紙に演奏する作品名を書いて、出願とともに提出すること。</p> <p>⑥ すべての受験者に面接を課す。なお、別科バロック声楽、別科バロックヴァイオリン、別科バロックチェロ、別科リコーダーの各専攻の面接においては、数字付き低音の基礎的知識の有無を問う試問がなされることがある。</p> <p>⑦ 別科チェンバロ、別科バロックオルガン、別科フォルテピアノの各専攻には、通奏低音課題 (簡易な数字付き低音課題が当日与えられ、5分間の予見ののちにそれぞれの専攻楽器で実施する) が課される。</p> <p>⑧ 各自の演奏する楽譜をコピーしA4判で一冊にまとめたものを4部作成し、出願とともに学生募集係に送付すること。</p> <p>当該楽譜は「別科古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。封筒裏面には志願者の氏名および受付番号を必ず記入すること。</p>		
		<p>バロック声楽 (BVo)</p>	<p>I. 5分程度の自由曲</p> <p>II. 初見視唱課題 初見視唱課題は、ルネサンスからC.モンテヴェルディまでの時代の声楽ポリフォニー作品及びJ.S.Bach, G.F.Handelの声楽パートの一部を改変したものから出題される。</p>
		<p>バロックヴァイオリン (BVn)</p>	<p>下のア)とイ)のどちらかを選んで演奏する。</p> <p>ア) A.Corelli: ヴァイオリンソナタ集 op.5 のソナタ第1番から第6番までの中から1曲選択し、当日指定された楽章を演奏する。</p> <p>イ) J.S.Bach: BWV1001~1006の無伴奏曲の中から1曲を選択し、任意の2つの楽章を演奏する。</p>
		<p>バロックチェロ (BVc)</p>	<p>J.S. Bach: Suite a violoncello solo senza basso no.1-3 (BWV 1007-1009) の中から1曲を選択し、Allemande, Courante を演奏する。(繰り返しは省略のこと)</p>
		<p>リコーダー (Rec)</p>	<p>5分程度の自由曲</p>
		<p>チェンバロ (Cemb)</p>	<p>I. J.S. Bach: Die sechs Englischen Suiten (BWV 806-811) から任意の組曲1曲を選び、その中からPrélude, Courante, Sarabandeを演奏する(繰り返しは省略)。なおCouranteとSarabandeが複数ある組曲の場合は、Courante, Sarabandeそれぞれ1つ分を任意に選んで演奏すればよい。</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を演奏する。(予見5分)</p>
		<p>バロックオルガン (BOrg)</p>	<p>I. 次の2作品から任意の1曲を演奏する イ) J.S.Bach: Präludium und Fuge in D, BWV 532 ロ) J.S.Bach: Präludium und Fuge in G, BWV 541</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を演奏する。(予見5分)</p>
		<p>フォルテピアノ (FP)</p>	<p>I. W.A.MozartもしくはJ.Haydnのクラヴィエーア作品から5分程度の作品または楽章</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を演奏する。(予見5分)</p>



専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲																
邦楽	<p>◎箏曲共通注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>暗譜で演奏すること。</li> <li>試験は、箏は立奏（椅子）で行う。三絃は立奏でも座奏でもよい。</li> <li>演奏箇所は試験の際に指示する。</li> </ol>																	
	<p>箏 山田流</p>	<p>※下記より1曲を選択する。</p> <p>「松上の鶴」 山登萬和 作曲 「新潮」 中能島欣一 作曲</p> <p>(注)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>学部と併願する場合は、学部への出願曲と重複しないこと。</li> <li>原則として箏は各自持参の楽器を使用するが、本学で用意した箏（テトロン糸18匁）の使用も可能である。なお、曲目提出用紙に持参・借用の区別を記入すること。</li> <li>調弦は、試験室に入室後、改めて取り直し、審査対象の内とする。又、調子替等、印付けは一際不可とする。</li> <li>口頭試問を行うことがある。</li> </ol>																
邦楽	<p>曲 生田流</p>	<p>※下記の中から、箏・三絃各1曲を選択する。</p> <p>ただし、学部と併願する場合は、学部への出願曲と重複しないこと。</p> <table border="1" data-bbox="544 947 1409 1211"> <tbody> <tr> <td data-bbox="544 947 612 1095" rowspan="4">箏</td> <td data-bbox="612 947 1070 985">「春の曲（本手）」 (吉沢検校作曲)</td> <td data-bbox="1070 947 1409 985">一は壱越(D)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="612 985 1070 1023">「けしの花」 (菊岡検校作曲)</td> <td data-bbox="1070 985 1409 1023">一は壱越(D)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="612 1023 1070 1061">「楓の花」 (松坂検校作曲)</td> <td data-bbox="1070 1023 1409 1061">一は神仙(C)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="612 1061 1070 1099">「桜川」 (光崎検校作曲)</td> <td data-bbox="1070 1061 1409 1099">一は双調(G)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="544 1099 612 1211" rowspan="3">三絃</td> <td data-bbox="612 1099 1070 1137">「六段」 (八橋検校作曲 [伝])</td> <td data-bbox="1070 1099 1409 1137">Iの糸は壱越(D)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="612 1137 1070 1176">「難波獅子」 (継橋検校作曲)</td> <td data-bbox="1070 1137 1409 1176">Iの糸は壱越(D)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="612 1176 1070 1211">「都踊」 (宮城道雄作曲)</td> <td data-bbox="1070 1176 1409 1211">Iの糸は壱越(D)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>箏は本学で用意した楽器（テトロン糸）を使用する。</li> <li>三絃は原則として各自の楽器を使用するが、本学で用意した楽器（絹糸）を使用することもできる。（曲目提出用紙に、持参・借用の区別を記入すること）</li> <li>調弦はチューナー等を持ち込まず、試験官が提示する基音から行うこと。</li> <li>課題曲は暗譜で演奏する。</li> </ol>	箏	「春の曲（本手）」 (吉沢検校作曲)	一は壱越(D)	「けしの花」 (菊岡検校作曲)	一は壱越(D)	「楓の花」 (松坂検校作曲)	一は神仙(C)	「桜川」 (光崎検校作曲)	一は双調(G)	三絃	「六段」 (八橋検校作曲 [伝])	Iの糸は壱越(D)	「難波獅子」 (継橋検校作曲)	Iの糸は壱越(D)	「都踊」 (宮城道雄作曲)	Iの糸は壱越(D)
	箏	「春の曲（本手）」 (吉沢検校作曲)		一は壱越(D)														
「けしの花」 (菊岡検校作曲)		一は壱越(D)																
「楓の花」 (松坂検校作曲)		一は神仙(C)																
「桜川」 (光崎検校作曲)		一は双調(G)																
三絃	「六段」 (八橋検校作曲 [伝])	Iの糸は壱越(D)																
	「難波獅子」 (継橋検校作曲)	Iの糸は壱越(D)																
	「都踊」 (宮城道雄作曲)	Iの糸は壱越(D)																
	<p>(1) 課題曲1曲</p> <p>「越後獅子」 峰崎勾当作曲 「四季の眺」 松浦検校作曲 「江の島曲」 山田検校作曲 「ほととぎす」 山田検校作曲 以上の4曲のうち1曲を選択。</p> <p>(2) 本曲1曲（曲目は自由）</p> <p>(注)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>流派は問わない。</li> <li>全曲暗譜とする。</li> <li>五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。</li> <li>演奏箇所は、試験の際に指示する。</li> <li>演奏は、椅子又は立姿勢で行う。</li> <li>邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。</li> </ol>																	

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
邦	能 楽 (囃子を除く)	<p>シテ方（観世流及び宝生流）  謡曲 「網之段」（桜川）  仕舞 「春日龍神」</p> <p>ワキ方（下掛宝生流）  謡曲 「網之段」（桜川）  仕舞 「蟻通」</p> <p>狂言方（和泉流）  謡曲 「大原木」  小舞 「海道下り」</p> <p>(注)  1. 受験者は黒紋付、袴、白足袋着用の上、無本（暗譜）のこと。</p>
楽	能 楽 囃 子	<p>下記の中から1つを自由選択。</p> <p>(イ) 笛 (一噌流) 「男舞」(三段)  (ロ) 小鼓 (幸流) 「経正(政)」キリ  (ハ) 大鼓 (高安流) 「敦盛」クセ  (ニ) 太鼓 (観世流) 「杜若」キリ(昔男のヨリ)</p> <p>(注)  1. 笛以外の楽器は、地謡の流儀(観世流、宝生流のいずれか)を曲目提出用紙に記入すること。  2. 受験者は黒紋付、袴、白足袋着用の上、無本（暗譜）のこと。</p>